



『唯一の特殊技術』

今回ご紹介させていただきますのは「株式会社 北海道シーアイシー研究所」様です。

日本シーアイシー研究所（東京）様を本部とし、国内に14拠点を有するCICグループ11番目の拠点として、千歳臨空工業団地に1984年5月に設立され、今年で30周年を迎えました。

社名だけを見ると何の研究をしているのかなと思いますが、事業内容はクリーンルーム用ウェア類の除塵精密クリーニング加工、半導体製造過程で使用される部品トレイ・治具類の表面クリーニング加工や、布団・シュートン・テントなどの大型製品から白衣・産業用ユニホームまで幅広い対応で「環境浄化」と「クリーン」をテーマに、環境に配慮した事業を展開しています。

社名にもなっているシーアイシー(Contamination Control in Cleanroom)事業は「クラス100」のクリーンルームを保有し、クリーンルーム維持管理に最適なクリーンルームウェアの洗浄・除塵を行っているそうです。特に、こちらのクリーンルームでの「超純水」を用いた洗浄は、北海道では唯一の特殊技術になるそうです。その他に、クリーンルーム関連商品・食品製造で使用する衛生資材関連商品の販売や、産業廃棄物収集運搬などの事業も展開されています。地球環境配慮した最先端のクリーニング技術でニーズに合わせた様々な対応や、「テスト洗浄」も行っているそうです。

千歳にこのような特殊技術を用いたクリーニング工場が有ることは、とても誇らしいことです。



< 営業第一G : 岡田 >



クリーンルーム内での作業

大型洗浄機と乾燥機が整備されています



『超純水』を使って洗浄しています



『100-Vicrea 札幌』

今月、当社は営業と業務が4班に分かれて北機でお馴染みの100の「Vicrea」札幌に参加研修してきました。

「Vicrea」とは100独自の造語で「意識が変われば100が変わる。それぞれの課題に最大限の成果を上げるには何をしたらいいか」を100の社内実践例を8つの100に分けて紹介していました。当社は今回、そのうちの一つ「5S活動」を研修しました。みなさんこの言葉はよく耳にすると思いますが、改めてご紹介すると「整理・整頓・清掃・清潔・躰」です。当社も何年も前から5S活動に取り組み、机の上に書類を置くなとか、余計な書類は処分しろとか、倉庫をきれいにしましょうとか毎回毎回いろいろな事に取り組みしてきましたが、今は唯一確実に取り組んでいる事といえば、月に1回の車両点検だけです。結局最初はいい意見はたくさん出ますが車両点検以外は全て尻切れトンボで終わってしまいました。100では、2年前に100を移転する時に社員の方から100の維持や業務改善を目的に社員参画の改善委員会を設け活動しているそうです。この活動の意義は「5S活動は社員を縛るのではなく社員を守るためのルール」なんだと理解してもらうことから始まったそうです。ここからは当社にも全てあてはまるのですが、5Sを実行するためには『一人一人の意識改革』が必要な事や、ルールを全社員にパブリック・貼り紙等で見える化し、確認、チェック、改善し、一番大事な事はそれを継続させる事…との回答をもらいました。100では問題がある人には100カードを発行し改善を求めているそうです。

今回の研修を聞いて100の社員は5Sが社内、社外、来社のお客様、問屋、メーカーの営業、売り上げ等全てに大きな影響を与えているという事がわかったと思います。6月以降の100の5S活動をみてください。

< Eyes : 田中 >



無人の受付。パソコンで担当者呼び出します。

一番目立つ場所に『見える化』の象徴となる分別ボックス



オープンで社員共有のミーティングスペース



何事も 基本は「整理整頓」から...

カウネットの北海道物流センターに視察に行ってきました。以前はPM6時迄のオーダーで翌々日のお届けでしたが北海道にセンターが出来たおかげで、道内エリアでは一般商品は翌日のお届けが可能（札幌市内はAM11時迄のオーダーで当日お届け）になり、大変便利になりました！商品も文房具・事務用品だけに留まらず、食品や洗剤・インテリア雑貨等在庫だけでその数2万品目以上とか。まるでスーパーの様でした。1日800~1000件程のオーダーを、MAXで30人程のメンバーが手作業で仕分け・梱包・配送へ、翌日には道内各地のお客様のお手元へ・・・その迅速さの秘密はいったい何なのでしょう？

答えは徹底した『整理整頓』にありました。商品棚間の細い通路は一方通行で衝突を無くし棚毎に色分け。1品目毎に住居の様に採番して場所を特定。商品は同じタイプの仕切板やトレイで分別・ペン等は立てて見た目もすっきり、スムーズに取り出しやすく無駄な作業や動作を極力無くす事で、仕事効率化をUPさせているからなんです。

さて、自分の机まわりや家の中はどうでしょう？

『整理整頓』で仕事も家事も効率よく迅速に！

・・・見習いたいものです。

< J. R. : 二階堂 >



MY FAVORITE わたしの おき好

不定期に、いろんなメンバーが、いろんな趣味について語ります...

今月は 青藤 <Eyes> が 熱く語っております！

私の趣味はお城巡りです。

夢は、日本全国すべてのお城をこの目に焼き付けたいです。

雑誌で最近お城好きの人が増えているという記事を目にしました。以前から一定数の人はいたようですが、自分の趣味をblogやtwitter等へ書き込んで、いわゆるカミングアウトする人が増加の要因ではないか？との事。タイプもあり、「文献を集めるのが好きな人」、「実際に行く人」、「資料を元に図面を描く人」の3つに分かれます。私は、間違いなく実際に行くタイプです。

最近のお城好きになるルートも3タイプあり「大河ドラマ」、「信長の野望など歴史ゲーム」、「漫画」から入る人で、ここは大河ドラマ派ですが、プロレスラーの藤波辰爾さん（昔はプロレスも好きでした。）が試合の遠征時にお城を見ていると新聞記事を読んでから興味を持ちました。最後はお城の何処が好きか？パーツがあるようです。例えば「石垣」石の積み方を求める人も多いようです。ほかには土塁、堀、天守、城門、瓦、後は大きく縄張り（レイアウト）なせよここに堀をほったのかなど考えるのが好きな人は「縄張りマニア」です。私は、天守と城門に時間を掛けて見ます。

今年GWに家族で国宝4城（松本・犬山・彦根・姫路）の中から松本城に行くことが出来ました。現存の天守を見るのを楽しみに出掛けました。他のお城ではあまりない入口で靴を脱ぎ袋に入れて階段を上りました。傾斜がなんと60度、手すりを使って上り下りしなければ怖くていけませんでした。一般的に1時間程で見学出来ます。

天守から見る景色が一番の癒しになりました。次は、最近話題の天空の城「竹田城跡」ではなく岡山天空の城「備中松山城」か、福井天空の城「備前大野城」を見に行きたいと計画しています。

お城のお話大歓迎です。



『松本城』

現存天守閣のある城



天守から見た 堀



今年も6月から『クールビズ』を実施します。

発行元：(株) カミノ

TEL：0123-23-4255 / FAX：0123-24-1381

E-mail：kamino@kamino.co.jp

ホームページ：http://kamino.co.jp/

(カミノトピックスのバックナンバーもご覧いただけます)